

2025/11 第7回地域脱炭素セミナー

公用車専用駐車場に設置する 充電設備について

堺市 環境局 カーボンニュートラル推進部 脱炭素先行地域推進室

目次(公用車専用駐車場に設置する充電設備について)

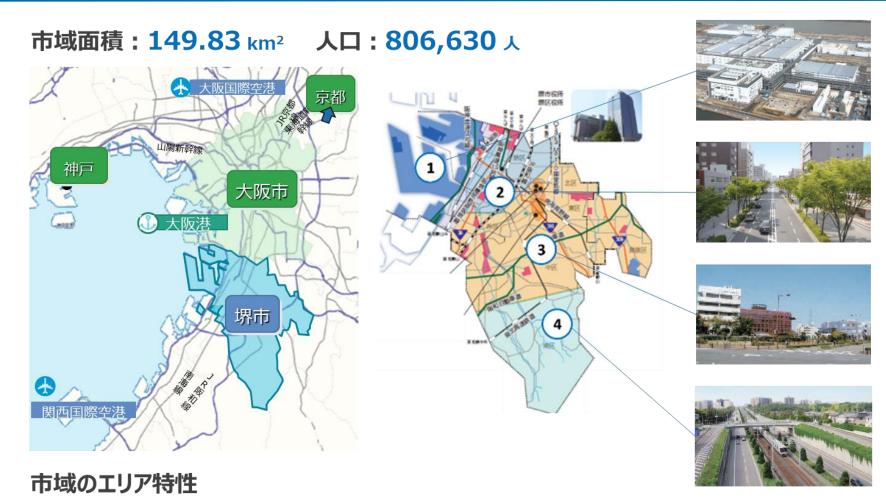


- 1. 堺市概要
- 2. 公用車専用駐車場の概要と現状
- 3. 充電器の増設に係る方針の検討
- 4. 課題へのアプローチ
- 5. 今後の展開



堺市概要





- ① 臨海部 … 産業地域を形成。物流施設も集積。
- ② 都心・周辺市街地 … 都心は都市機能が集積し、周辺市街地は豊な歴史文化資源を有する。
- ③ 内陸部 … 工業集積地や商業・業務地を形成。 ④ 丘陵部 … 泉北ニュータウンと農業地域を形成。



公用車専用駐車場の概要と現状

公用車専用駐車場の概要と現状



プザー条

一条通公用車専用駐車場 2016年竣工 3階+屋上階



堺市役所本庁舎から離れた場所に立地 →**低圧**による引込み



竣工当時はEVの車種も少なかった →将来導入することを見据えて **充電器を2台分**設置





充電器の増設に係る方針の検討

充電器の増設に係る方針の検討



検討

1

電力容量の確保(高圧電力への切替)

検討

2

車両台数の最適化と併せて車両管理を一括で行うサービスの活用

検討 **1**

電力容量の確保(高圧電力への切替)

- ・直近の公共工事の実績から高圧受電設備を導入するには約500万円程度かかる
- ・グリーン調達方針に基づき、車両の入替に合わせて順次EVを導入しているため、 高圧受電設備を導入するための最終的な負荷容量の設定が困難
- ・高圧受電設備を導入したあと数年は、少数のEVの充電のために 過大な受電設備を設置することになる



検討 **2**

車両台数の最適化と併せて車両管理を一括で行うサービスの活用

- ・令和6年8月に車両管理システムを更新したばかり
- ・車両台数の最適化は公用車を管理している部署が車両不足にならないよう 稼働時間等のデータを収集しながら、**既に減車を実施中**
- ・駐車場が低圧引込みで電力容量の空きが少なく、 充電台数が限られている中で**十分なサービスを受けられない**
- ※自治体の多くは庁舎内に公用車専用駐車場があり高圧での引込みをしているため、電力容量に余裕があり同様の サービスを活用しても保有台数の増減に合わせて最適な充電器を設置することができる





課題へのアプローチ



課題:低圧引込みのまま充電器を最大限増設



電力契約の変更(電力容量を増大)



タイマーによる輪番充電の導入





電力契約の変更(電力容量を増大)

電力契約を、、、

負荷設備契約

従量電灯 **27kVA**

低圧動力 4kVA



主開閉器契約

従量電灯 45kVA

低圧動力 4kVA

⇒3 kVAの充電器 6 台分の増設が可能 😞・曇・曇・曇・







タイマーによる輪番充電の導入

タイマーで同時に充電する台数を制御→充電器の設置台数を増やす

調査の結果、退庁時間になると建屋の電力消費が低下することが判明 公用車専用駐車場の電力消費が落ち込む時間帯

- 18時~翌8時(14時間)
- →最大8台まで同時充電可能!

現在販売されている軽EVの多くはバッテリー容量が20kWh3kVAの充電器7時間でフル充電

→18時~翌1時 と翌1時~翌8時 の**2グループに分けてタイマーによる給電を行う**

課題へのアプローチ



充電グループ図



タイマーを用いた輪番充電を行うことで、16台分の充電設備を増設!



18時 18時 8時 翌1時

課題へのアプローチ



工事で設置した機器

輪番充電用タイマー盤



充電コンセント



EVに給電している様子





今後の展開





別の事業で公用車専用駐車場に太陽光発電設備を設置しており 土日は建屋の電力消費が低下

- →金曜日から土曜日にかけてのEVの夜間充電を停止し、 土日の太陽光発電設備で発電した電気をEVに給電
- 電池容量が20kWhを超えるEVが導入された場合 個別に充電時間を伸ばすなど、最適な運用を実施
- 16台の充電器がすべて稼働済みになった場合 「特例需要場所」制度を活用した充電設備専用の引込み追加を検討

